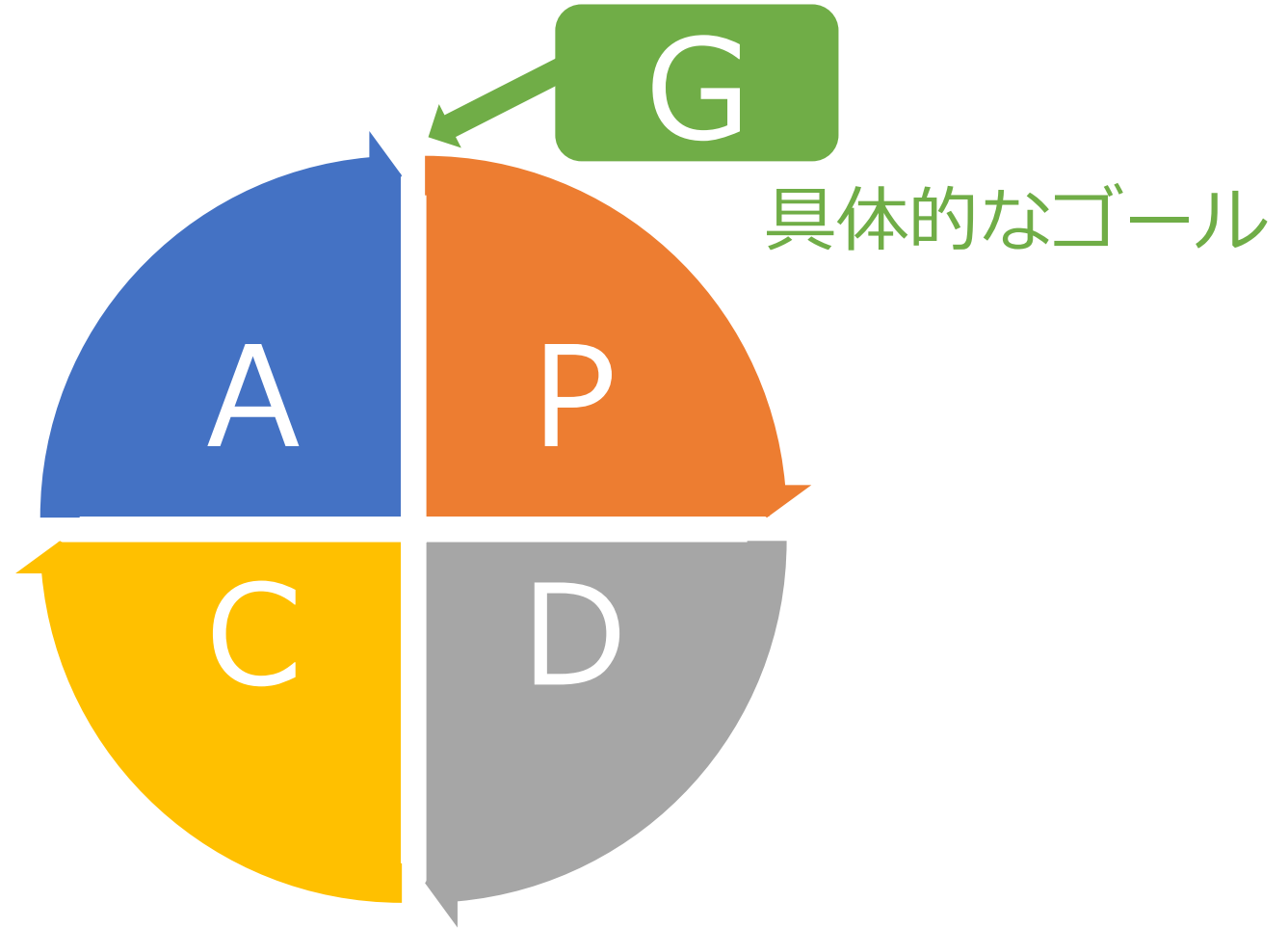


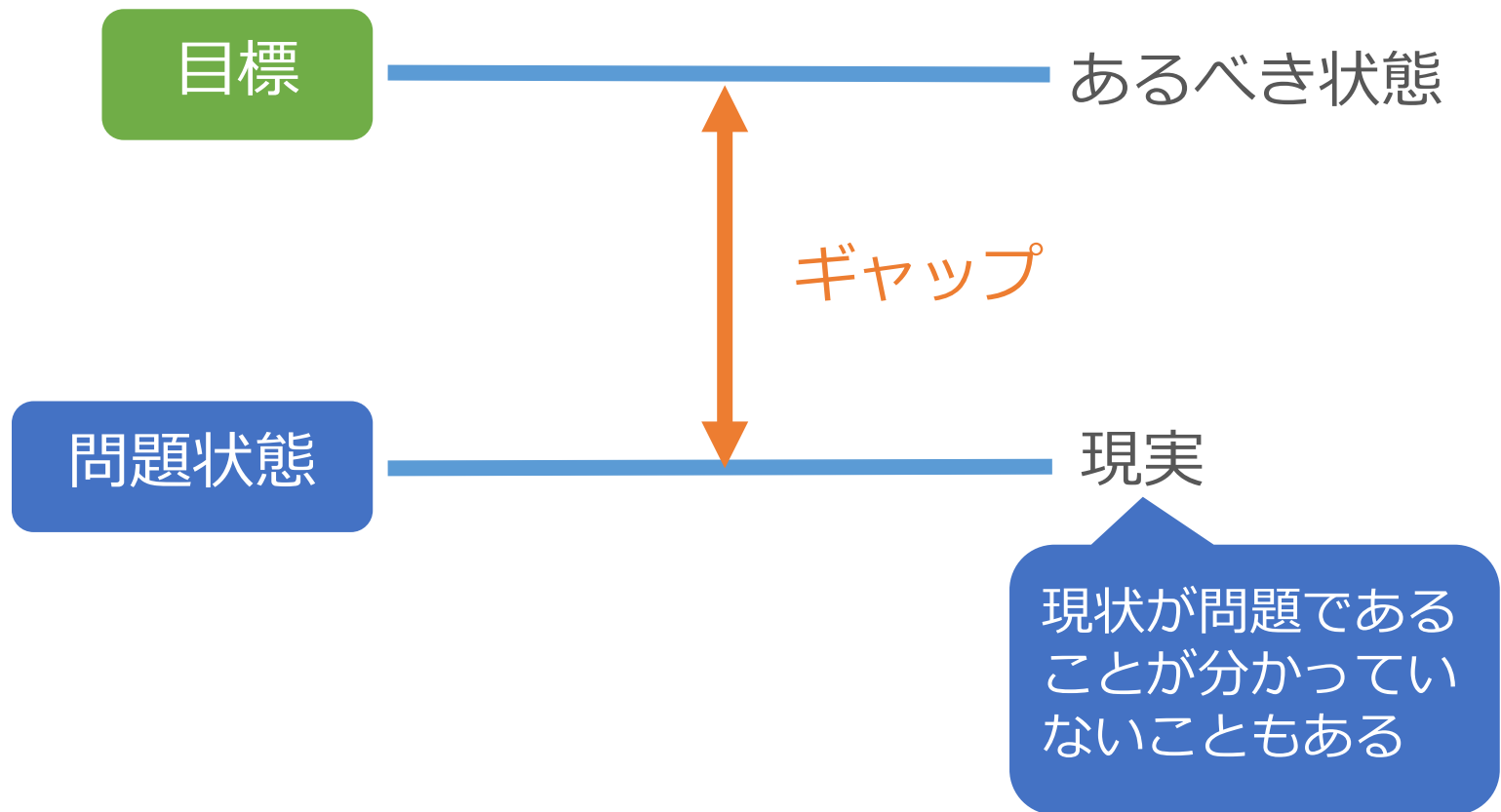
# PDCAのP

## PDCAの鍵はP

# まずはゴール設定



# 理想と現実のギャップ明確化



# 課題選択プロセス



# 1. 現状把握

- ◆情報収集

- ◆集団の場合の情報

罹患率、有病率、死亡率など健康問題に関する頻度（記述疫学）

「何が」「どのように」問題なのか  
「問題の明確化」

## 2. 原因把握

- ◆原因の特定
- ◆問題自体の詳細分析→原因



効果的な対策の選定に有用

# 3. 問題分析

間接的な原因から直接的な原因にいたるまでのプロセスを明らかにする

## ◆問題系図（ロジックツリー）

POINT

ゴールを達成するための課題選択には問題系図が重要

# 4. 課題選択

原因把握で把握された原因、  
または、問題分析から把握された原因から、  
実際に取り組む課題を選択



# 課題選択時考慮ポイント

1. 優先順位
2. 期間
3. 実行可能性（費用、設備、マンパワー）
4. 相手の受け入れ

# 目標（値）設定

選択した課題に対して、目標を設定する

- ◆具体的で分かりやすいこと
- ◆評価可能であること

→具体的な数値目標を明示する

- ◆将来推計値（20%上げる、15%下げる、など）
- ◆他の集団の数値（全国平均など）

# 設定時のポイント

Real

Understandable

Measurable

Behavioral

Achievable

# 具体的な活動を計画

## 6W1H1Bで計画

What Why Who  
Whom When Where  
How Budget